

◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの発生状況につきましては、定点毎に計測していますが、今週の報告数は、0.04(3例)で、第10週0.43(29例)、第11週0.18(12例)と減少しています。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、5.61(230例)で、第11週に比べて減少しています。なお、年齢では、0～5歳で62.2%(143例)を占めています。
- ・ 水痘の定点当たり報告数は、1.51(62例)で、本年度で最も多くなっています。年齢では、3歳が22.6%(14例)と最も多く、また、1～3歳で58.1%(36例)を占めています。
- ・ パラチフスの報告が1例(国外在住者)あります。本年初めての報告で、推定感染地域は、国外(インド)で、推定感染経路は、経口となっています。
感染症法に基づく届出の対象となった平成11年(4月)以降、平成14年3例、平成16年3例、平成17年1例、平成20年3例報告があり、累積報告数は、本例を含め11例となっています。推定感染地域は、インドネシア4例、インド3例、バングラデシュ1例、ネパール1例、ミャンマー1例、不明1例で、推定感染経路は、経口が9例、不明が2例となっています。
- ・ A型肝炎の本市での報告は、平成21年10月以降ありませんが、京都府(市外)では、第11週に1例あります。また、全国では、第10週以降、報告数が増加しており、今週の週報告数は13例で、第11週と共に、過去2年間で最も多くなっています。推定感染経路別では、カキ等貝類の喫食による感染の報告が複数ありますので、注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、0.80(33例)で、第7週(0.80)と共に、本年度で最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ お知らせ

平成22年4月1日から、京都市衛生公害研究所は、京都市衛生環境研究所に名称が変わりました。所在地や電話番号、FAX番号などに変更はありません。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 三類:パラチフス 1例(第11週追加分)【1月以降の累積報告数 1例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68、小児科定点41、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.04	3
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.61	230
	② 水痘	1.51	62
	③ 流行性耳下腺炎	0.80	33
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	17
	⑤ 突発性発しん	0.37	15
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

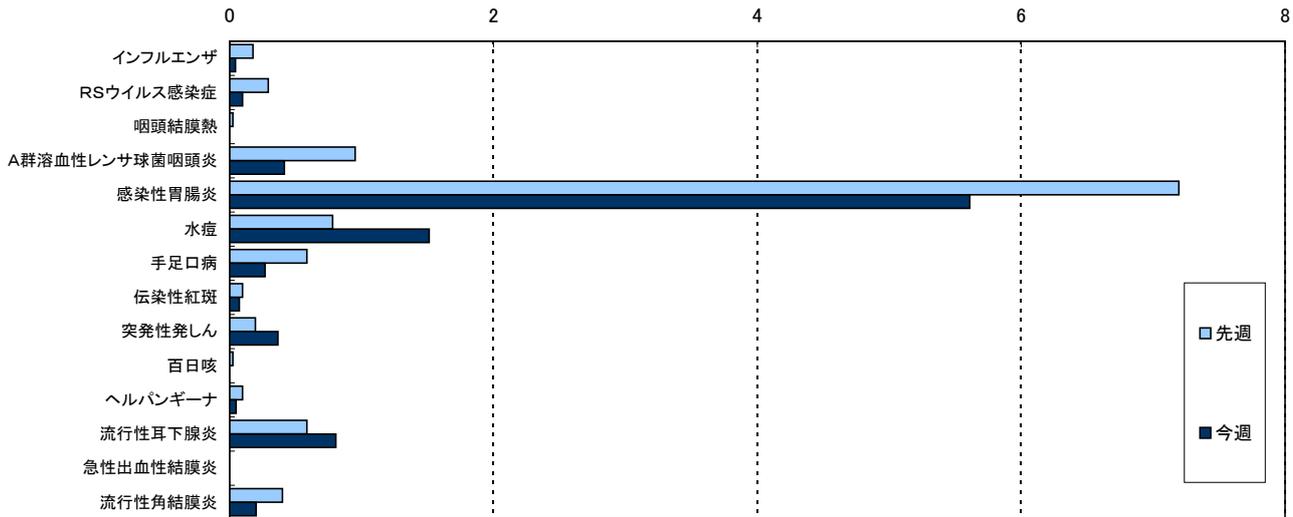
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

(注) 京都市のデータは、平成22年4月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

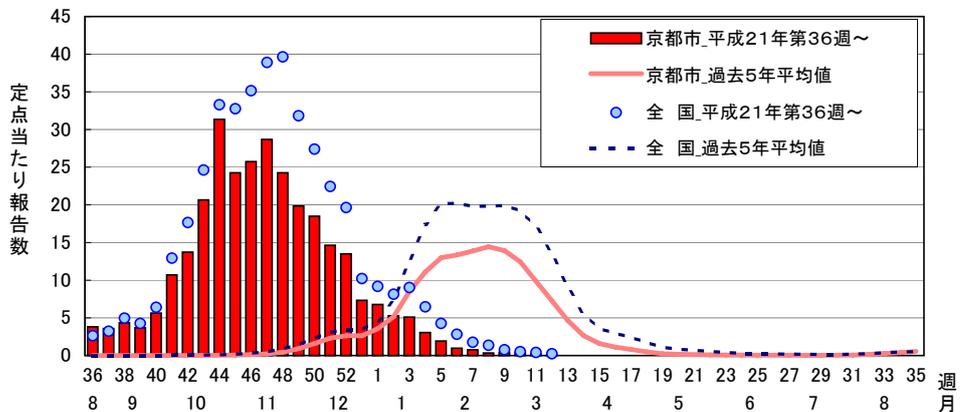
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第12週)と先週(第11週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

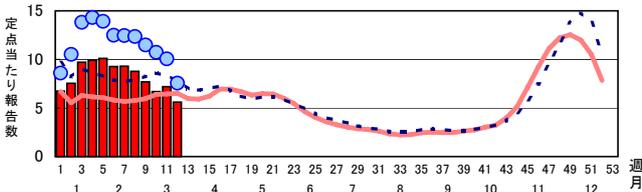
週	報告数(例)
第8週	23
第9週	29
第10週	29
第11週	12
第12週	3
累積報告数 (第36週以降)	20,371



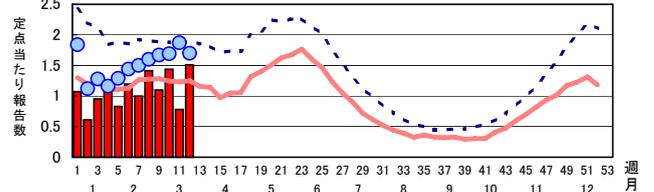
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

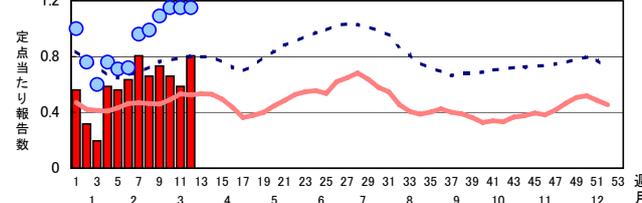
1 感染性胃腸炎



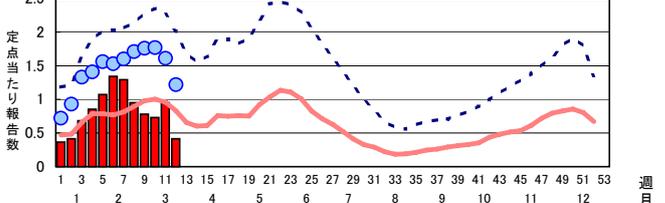
2 水痘



3 流行性耳下腺炎

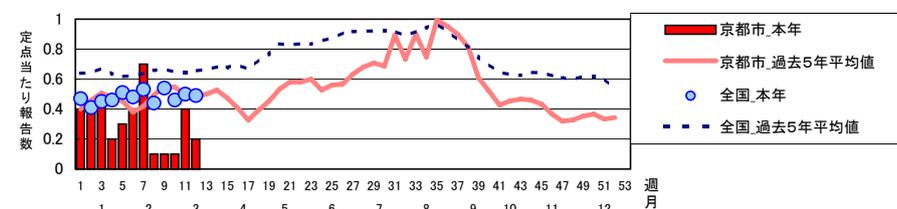


4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第12週(3月22日～3月28日)トピックス: <流行性耳下腺炎>

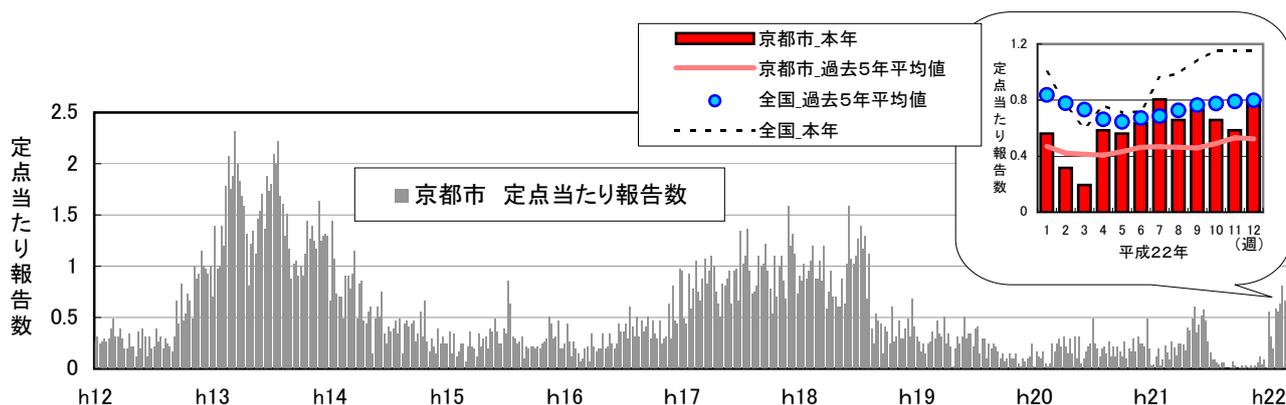
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、0.80(33例)で、第7週(0.80)と共に、本年で最も多い報告数となっています。

過去10年間(平成12年から平成21年)の推移をみると、数年おきに報告数が多くなっています。平成19年以降は、定点当たり報告数が少ない状態が続いていましたが、本年の第4週以降、過去5年平均値を上回る状態が続いていますので、今後の動向に御注意ください。

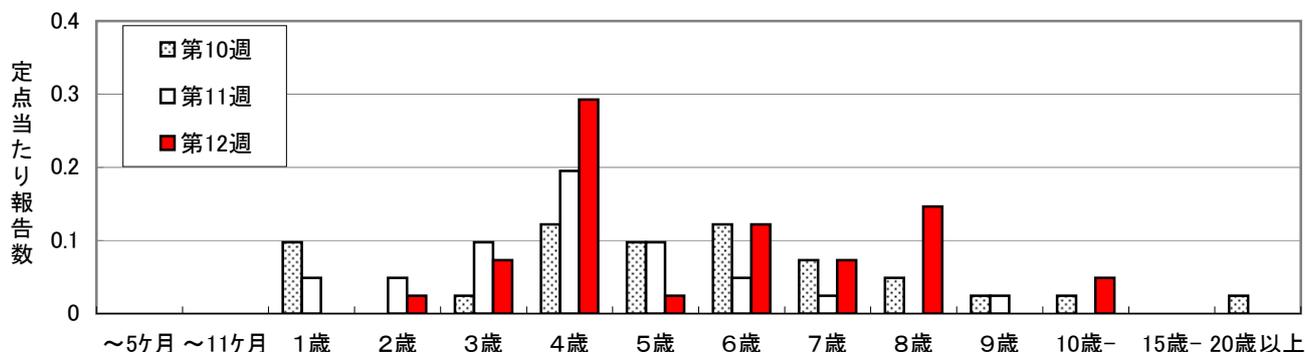
年齢群別にみると、「4歳」が最も多く、36.4%を占めています。

行政区別にみると、11行政区中、6行政区から報告があり、伏見区、北区の順に多くなっています。

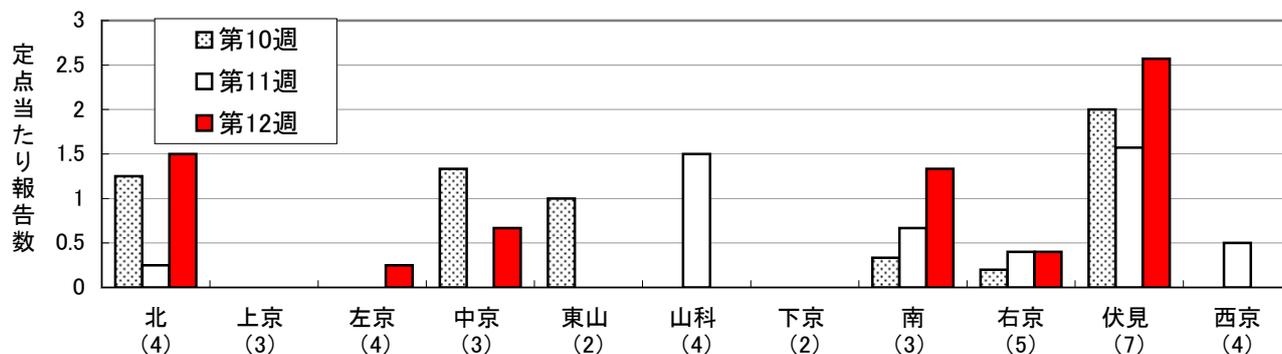
本市の過去10年間(平成12年～平成21年)及び本年の定点当たり報告数の推移



年齢階級別定点当たり報告数の推移



行政区別定点当たり報告数の推移



()内は行政区別内のインフルエンザ定点医療機関数